

入間市こども計画策定に係る 意見聴取(ヒアリング) 報告書

【こどもへのヒアリング 詳細版】

令和 7 年 3 月

はじめに

入間市こども計画の策定にあたって、令和 5 年度に「入間市こども・子育て支援に関するニーズ調査」及び「入間市こどもの意識・生活に関する調査」を実施し、令和 6 年度にこどもや子育て当事者へのヒアリングを行いました。

この報告書は、令和 6 年度に実施した、こどもへのヒアリングの詳細をまとめたもので、入間市こども計画の策定に係る業務委託の一環として、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して行いました。

なお、令和 5 年度のアンケート調査については、「入間市こども・子育て支援に関するニーズ調査、こどもの意識・生活に関する調査 報告書」を、令和 6 年度のヒアリング全体については、「入間市こども計画策定に係る意見聴取(ヒアリング) 報告書」をご覧ください。

目 次

第1章 児童センター	1
【意見聴取 概要】	3
1. 目的	3
2. 実施方法	3
3. 対象者	3
4. 回答状況	3
5. 結果を見る上での注意事項	3
【集計結果】	4
6. 居場所について	4
7. こどもと関わる仕事について	6
第2章 AIKURU FREE BASE	9
【意見聴取 概要】	10
1. 目的	10
2. 実施方法	10
3. 対象者	10
4. 結果を見る上での注意事項	10
【集計結果】	11
5. 入間市の魅力	11
6. 入間市の未来について	12

第1章 児童センター

【意見聴取 概要】

1. 目的

今後の市の計画策定に向けて、こどもたちの率直な意見を把握し、その意見を市の施策検討に活用できるように意見聴取を実施した。

2. 実施方法

【日にち】 令和6年7月30日（火）～8月22日（木）

【場 所】 入間市児童センター（アイクス）

【手 法】 アンケート用紙配布回収 自記式

調査は児童センター内に設置したアンケートブースで7月30日に実施した。調査員がこどもたちにアンケート用紙の記入を依頼し、回答はこども本人が行った。また、小学校低学年のこどもや、質問内容の補足説明が必要な場合には、調査員が個別に対応し、わかりやすくサポートした。7月31日以降は、引き続きブースを設け、児童センター職員が回収した。

3. 対象者

児童センターを利用する小学生、中学生

児童センターでボランティアをしている中学生

4. 回答状況

(人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学生	23	11	20	25	27	8	114
中学生	17	14	14				45

5. 結果を見る上での注意事項

・全ての設問の回答は自由記述式であり、文章中に1人で2つ以上の分類にわたって記述がある場合、それぞれを数えているため、件数は延べ件数となる。

【集計結果】

6. 居場所について

Q1 学校が終わった後、平日によく過ごしている場所はどこですか。また、休日のよく過ごす場所はどこですか。(例：学校、自分の家、友達の家、学童保育(放課後児童クラブ)、公園、習い事、等)

〔平日〕

内容	件数
自分の家	101
公園	32
習い事/塾	29
児童センター	19
友達の家	16
学童保育	12
学校	11
エミタス(放課後デイサービス)	4
祖父母の家	2
その他	17
計	243

〔休日〕

内容	件数
自分の家	88
公園	25
習い事/塾	24
児童センター	23
友達の家	8
商業施設	21
学校	9
祖父母の家	4
エミタス(放課後デイサービス)	1
その他	29
計	232

Q2 その場所で誰と、どのように過ごしていますか。

・誰と(例：友達、一人、きょうだい、お母さん、お父さん、等)

〔平日〕

内容	件数
友達	101
きょうだい	41
母親	34
家族	28
一人	28
父親	9
祖父母	5
その他の親族	1
先生	1
その他	4
計	252

〔休日〕

内容	件数
友達	63
母親	50
家族	42
父親	41
きょうだい	32
一人	18
祖父母	5
その他の親族	2
先生	2
その他	14
計	269

Q2 その場所で誰と、どのように過ごしていますか。

・どのように過ごす（例：ボール遊び、ゲーム、体を動かす、本を読む、等）

〔平日〕

内容	件数
運動・身体を使った遊び	68
ゲーム	65
勉強・宿題	27
遊び全般	16
読書（マンガ含む）	13
スマホ・SNS・動画を見る	13
テレビ	8
習い事	5
特に何もしていない	5
部活動	3
その他	14
計	237

〔休日〕

内容	件数
運動・身体を使った遊び	78
ゲーム	59
勉強・宿題	20
読書（マンガ含む）	16
スマホ・SNS・動画を見る	13
買い物	13
テレビ	7
部活動	7
習い事	2
特に何もしていない	2
その他	24
計	241

Q3 普段過ごしている場所以外で、どのような場所なら過ごしたいと思いますか。

（例：友達がいて楽しい、自然にふれあえる、家の近く、スポーツや勉強を教えてもらえる、自習や読書ができる、等）

内容	件数
友達と（楽しく）過ごせる場所	46
スポーツができる場所	26
自然や動物に触れ合える場所	24
自宅・自宅の近く	13
勉強や読書が出来る場所	12
公園	11
プール	7
落ち着ける場所・静かな場所	6
友達の家	6
図書館・児童センター	6
遊園地	4
親戚の家	3
その他	34
計	198

〔総括：居場所について〕

平日、休日ともに「自分の家」で過ごす人が最も多かった。休日では、「商業施設」が増えている。また、一緒に過ごす人は、平日、休日ともに「友達」が最も多いものの、休日では、家族と過ごす人が増えている。

過ごしたい場所は、「友達と（楽しく）過ごせる場所」が最も多く、次いで「スポーツができる場所」、「自然や動物に触れ合える場所」が多かった。

7. こどもと関わる仕事について

- Q4 こどもと関わる仕事についてどのような印象がありますか。
 Q5 保育士になりたいと思いますか。また、その理由はなんですか。

【対象：児童センターでボランティアを行う中学生】

回答一覧

No.	学年	こどもと関わる仕事の印象	保育士希望	理由
1	3年	楽しくてとてもやりがいがあるけれど、覚えることが多かったりコミュニケーションをとったりするのが少し大変だった	思う	今日の経験でさらに子供と関わることの楽しさについて学ぶことができたから
2	2年	・子どものしょうらいにかかわる重要で、そんけいできる仕事 ・たいへんそう	昔はそうだった	成長するにつれ、保育士の重要性に気づき、あまい気持ちでなれないたいへんな仕事だと知ったから
3	1年	たのしいけどむずかしくて、子供への対応がむずかしい ピアノがひける	はい	子どもが大好きで、母も保育士だから
4	1年	みんなとしゃべったり、遊んだりして楽しく笑顔になれる印象	はい	みんなと関わってしゃべれて楽しく笑顔をもらえそう
5	3年	優しく声をかけている	はい	もともと幼児と関わる仕事に興味があったから
6	1年	とても楽しい仕事	なりたいたいと少し思う	小さい子が可愛くて好きだから でも親の相手が大変そうだから
7	3年	楽しそう	なりたいたい	お手伝いや職業体験でやってみて楽しかったから
8	1年	それぞれいろいろな方々がいて、楽しく子供とふれあえる印象です。優しいふんいき	なりたいたい	子供とふれあえるのが楽しいから 子供の成長を見守れてやりがいを感じるから
9	3年	明るくて楽しそうな仕事という印象があります	なってみたい	小さい子と関わるのは好きなので、保育士になってもいいかなと思ったからです
10	2年	こどもとふれ合えて楽しそうな印象がある	少し思う	みんなの明るさに元気をもらえる
11	3年	やさしい人が多く、楽しそうなイメージ	子どもと関わる仕事には就きたい	子どもが好きだし、子どもを育てている保護者の方の手助けをしたいから
12	3年	ていねいな言葉づかいをしている こどもの好きそうなものが分かっている	分かりません	こどもにイライラして怒鳴っちゃったりしたら怖いけど、小さい子は好きだしうーん・・・って考えてたら分かんなくなっちゃいました
13	1年	とても難しいけどとても楽しい 理由：けがやトラブルがあったときの対処や、保護者との関わり方が難しい 楽：気持ちを素直にうち明けてくれることや小さいこのかわいさがいやしになる	検討	将来、はば広い年代の人達と接する仕事につきたいから 保育士で行われている小さい子との関り方、接し方などがきになるから

No.	学年	こどもと関わる仕事の印象	保育士希望	理由
14	2年		考え中	
15	1年	小さい子のことを一番に考えて遊んでくれたり教えてくれる	思わない	小さい子と関わるのが苦手だから
16	2年	やさしい 大変	思いません	幼稚園の体験をやってみて、大変でした。元気な子としずかな子がい て、私の体力だとあまりもたない と思いました
17	2年	笑顔大切	思いません	子どもと関わるには体力が必要だ けど体力があまりないから
18	3年	子どもはとてもせん細なので、気配りができ、心が広い人にしかできない仕事だと考えています。	いいえ	楽しそうではあるけれど、僕のような性格の人には難しいと思うから
19	3年	こどもの方が元気で体力使うからつかれそう	いいえ	需要あるのに給料安いから
20	3年	優しい方が行っている こどもとの接し方が上手い	いいえ	こどもと関わるのがあまり得意ではないから
21	2年	大変そう。疲れそう。	いいえ	他になりたい物があるから
22	2年	楽しそう。いやされそう。	いいえ	大変そうだから。ピアノひけないから
23	3年	優しい方が多い。子どもの成長を見れるというやりがいがある	いいえ	ずっと小さな子どもといると、優しく接することができなくなってしま いそうだから
24	1年	子どもがはしゃいだりして大変で、人手が足りない	いいえ	自分は保育士に向いてないし、やった所で楽しくないと思うから
25	3年	簡単な言葉で分かりやすく、幼児と目を合わせて話している。	いいえ	他に夢があるため
26	3年	子供たちのイキイキした姿が見れる 成長も感じる	いいえ	別の目指している道があるから
27	1年	とても明るく楽しい印象 幼い子にいやされる印象	いいえ	幼い子と関わるのは楽しそうだけ ど、少し大変そうなため
28	2年	楽しそう たいへんそう	いまはあまり 思わない	たいへんそうだなとか、子どもにき らわれたらメンタルこわれそう
29	2年	楽しそうだけれども、少し大変 そう印象	あまり思っ てない	人と接するのが苦手だから

【総括：こどもと関わる職業について】

保育士になりたいと思う人は、こどもと関わることに好意的な印象を持っている人が多かった。保育士になりたいと思わない人は、保育士の負担の大きさを挙げる人が多かった。

保育士が将来の職業選択の一つである人を増やすためには、保育の魅力を知ってもらうことや働きやすい環境づくりが重要と考えられる。

第2章 AIKURU FREE BASE

【意見聴取 概要】

1. 目的

今後の市の計画策定に向けて、こどもたちの率直な意見を把握し、その意見を市の施策検討に活用できるように意見聴取を実施した。

2. 実施方法

【日にち】 令和6年8月2日（金）

【場 所】 NPO法人AIKURU「AIKURU FREE BASE」

【手 法】 ヒアリング(傾聴)調査

調査は、調査員が施設を訪問し、そこに集まる若者たちと共に時間を過ごす形で実施した。ゲームや食事を楽しむ合間に自然な会話を通じて、若者たちが感じている生の声を引き出した。この対話の中で、彼らの考えや感情を深く理解するため、流れに応じて質問を掘り下げて聞いた。

3. 対象者

AIKURU FREE BASEを利用する中学生、高校生、若者

4. 結果を見る上での注意事項

- ・対話はグループ形式で行われているため、1人が独自に意見を述べるのではなく、何人かの参加者が話す輪を通じて共有した意見が反映されている。
- ・近い内容の意見をまとめている場合がある。
- ・具体的な年齢を聞いていない場合がある。

【集計結果】

5. 入間市の魅力

入間市の魅力を教えてください。

カテゴリー	具体的な意見	年齢 /性別
自然 ・ 環境	自然が豊かで、都会過ぎず田舎過ぎないバランスの良い環境が入間市の魅力だと感じます。適度に便利でありながらも、落ち着いた雰囲気が良いと思います。	高校3年 /男性
	地元特産の「狭山茶」はとても美味しく、友人や知人に自慢できる市の代表的な魅力の一つです。	17歳 /男性2名
	独特な雰囲気のジョンソントウンが好きです。アメリカンな街並みが広がっています。	21歳 /男性
居場所	AIKURU FREE BASEのように若者が気軽に集まれて自由に利用できる施設があることがとても良いと思います。	16歳 /男性
交通 アクセス	入間市は都内へのアクセスがとても良いと感じます。市内に駅が3つありどのエリアへも出やすいため、日常生活や通学にも便利です。	23歳 /女性
娯楽 ・ イベント	市内には娯楽施設や商業施設など若者が遊びやすい施設があり、とても充実しています。	高校生 /男性
	地元で開催されるお祭りは毎年とても楽しいです。もっと地域のイベントがあると良いと思います。	13歳、19歳 /男性

【総括：若者とともに描く入間市の未来】

入間市が若者から親しまれるポイントは、都会過ぎず田舎過ぎず、バランスの取れた「ちょうどいい」まちということがわかりました。都心へのアクセスの良さのほかにも、緑豊かな公園や特産品の狭山茶、友達と集まることができる場所など、多様な魅力が挙げられました。

入間市はこうした未来を担う若者の声を大切にしながら、次世代がより輝き、一層魅力あふれるまちを市民と一緒に創っていきます。

6. 入間市の未来について

入間市の魅力や良くないところについて、どうしたらもっと入間市がよくなると思いますか。

カテゴリー	具体的な意見	年齢 /性別	意見から考えられること
公共施設 ・ 居場所	中高生が自由に集まれて、リラックスできるような場所をもっと増やしてほしいです。通学経路の中にあると、もっと便利に感じられると思います。	高校生 /男性	事業を行うにあたっては、生活圏域等を考慮した地域区分はもちろん、通学や通勤の経路も重要な視点です。
	小学生の頃を振り返ると、公園が少なく、遊ぶ場所がなかったです。遊具が整備された公園が必要だと思います。	16歳 /男性	こどもが遊びたいと思う公園になるように、遊具の整備等をする必要があります。
	こども・若者だけで利用できるなど、体育館をもっと簡単に利用したいです。また、スポーツイベントを開いてほしいです。	高校生 3名 /男性	利用手続き等を見直すことで、こども・若者のスポーツへの親しみやすさにつながるかもしれません。
	市役所内にカフェや休憩スペースがあると便利だと思います。その方が入りやすく、待ち時間も楽しめ、市民にとって利用しやすい施設になると思います。	23歳 /女性	市役所の利便性を高めるためには、手続きの簡略化はもちろん、市民に親しまれる機能を持つことも重要です。
環境 ・ 整備	カーブミラーがなくて危ないと感じる場所があります。どこに伝えたら改善してもらえるのか分かりません。	23歳 /女性	市民が困った時に相談する窓口をより分かりやすく伝えていく必要があります。
	観光施設が増えると交通機関が混雑するため、住みやすさを重視してほしいです。	17歳 /女性	住みやすさを実感してもらうためには、交通機関の混雑は重要です。
将来への 支援	将来に向けて、職業や起業に関する知識を学ぶ機会を提供してほしいです。	16歳 /男性	将来の選択に向けて、こども・若者を支えることが重要です。
交通の 利便性	坂が多く、市内の移動が大変です。また、入間市駅と武蔵藤沢駅の間はバスが少なく不便です。	23歳 /女性	交通に不便な地域があることは入間市の弱みです。弱みを強みに変えるためには柔軟な対応が必要です。
特産物 ・ 地域 知名度	入間市に住みたいと思ってもらうために、まずは入間市を知ってもらう必要があると思う。地名の入った特産物を作れば、入間市の知名度も上がると思う。	16歳 /男性	入間市を知るきっかけとして、特産物を使ったPRは有効かもしれません。

【総括：若者の声を生かす入間市の未来】

まちづくりに関して、様々な視点での意見を聴くことができました。入間市は、若者たちにとって魅力的な「住みやすいまち」として評価される一方で、市の課題からよりよくなる可能性が見えてきました。若者の意見の中には、こども支援部に関する事業のみならず、一市民として、こども・若者の生活に関係する仕組みへの意見も多くあり、期待されていることが分かりました。未来を担う世代の意見を踏まえ、今後の施策へ生かすことができるよう、全庁的に共有を図っていきます。